

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年4月24日～5月7日)

平成 26 年(2014 年)5 月 9 日

H E A D L I N E S

政治

ポーランド要人がヨハネ・パウロ2世の列聖式に参列
 ポーランド政府がEU加盟10周記念式典を開催
 ポーランド軍派遣部隊、ガズニ基地から撤収
 フランス空軍機、マルボルクに展開
 ポーランド空軍 Mig29 部隊、NATOバルト諸国領空警備任務を引き継ぎ
 コモロフスキ大統領が東方パートナーシップ5周年記念会合に出席
 トウスク首相がエネルギー同盟を巡る積極的な外交を展開
 ウクライナ情勢に関するポーランド政府の主な動き

経済

ベルカ総裁がユーロ導入を急ぐべきでないと発言
 経済省が経済予測を上方修正
 イノベーションの推進に27億ユーロ支出予定
 OECDが経済予測を上方修正
 3月の失業率は13.5%
 新規受注は引き続き増加
 消費は増加傾向が続く
 海外のポーランド人は41億ユーロを本国に送金
 74%のポーランド人はユーロ導入に反対
 4月のPMIIは52.0ポイント
 4月の倒産は65件
 輸出は増加が続く
 ソラリス社がイタリア・ミラノ市にバスを供給予定
 ワルシャワ市が中国BYD社製電気バスを導入予定
 白物家電の生産が第1四半期に前年同期比11%増
 トウスク首相がエネルギー同盟を提唱、各国首脳と協議
 グリーンピースが原子力プログラム採択に関し政府を提訴
 ポーランドと英国がシェールガス開発の影響に関する分析を共同で開始
 コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の新CEOにタラス氏を指名
 PKNオルレン社は2014年に3か所以上で天然ガス探査井を掘削予定

大使館からのお知らせ

クラクフにおける領事出張サービスについて
 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間延長について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

ポーランド要人がヨハネ・パウロ2世の列聖式に参列【4月27日】

4月27日、ポーランド出身のヨハネ・パウロ2世の列聖式がバチカンにて執り行われ、コモロフスキ大統領夫妻、トゥスク首相夫妻、コパチ下院議長、ボルセヴィチ上院議長を始めとするポーランド要人が多数参列した。列聖式には世界中から80万人以上の信者が集り、特にポーランドからの巡礼者が多数に上った。また、ポーランド国内各地においても記念ミサ等の特別行事が行われた。

ポーランド政府がEU加盟10周年記念式典を開催【5月1日】

1日、ポーランド政府はワルシャワ市内ワジェンキ公園においてEU加盟10周年記念式典を開催し、コモロフスキ大統領、トゥスク首相等が出席した。コモロフスキ大統領は、ポーランドのEU加盟国としての10年間はポーランド国民全員にとっての成功であった旨述べた。なお、ポーランド外務省は、同10周年に際し、この10年間でGDPが48%拡大したこと、輸出量が3倍増加したこと、外国投資額が2,070億ズロチから7,590億ズロチに大幅に拡大したことなどを示す報告書を発表している。

ポーランド軍派遣部隊、ガズニ基地から撤収(アフガニスタン)【4月27日】

4月末、ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊は、アフガニスタンにおける主要活動拠点であったガズニ基地から撤収。27日には同基地に於いてポーランド軍旗の降下式が行われた。今後はバگرام基地を拠点とし、本年末の撤収完了に向け要員及び機材の引き揚げ作業が行われる。

フランス空軍機、マルボルクに展開【4月28日】

28日、フランス空軍ラファール戦闘機4機がマルボルク第22戦闘航空基地に展開。ウクライナ情勢を受けたNATO東方加盟国防衛態勢強化の一環であり、同部隊はバルト諸国領空警備任務を補完するとともに、ポーランド空軍部隊及び仏と同様に当地に展開中の米空軍F-16部隊と共同訓練を行う予定。

ポーランド空軍 Mig29 部隊、NATOバルト諸国領空警備任務を引き継ぎ【4月29日】

29日、リトアニア・シャウレイ基地においてNATOバルト諸国領空警備任務の引き継ぎ式が行われ、ポーランド軍Mig29・4機(マルボルク所属)が米空軍F-15部隊から任務を引き継いだ。ポーランド空軍の同任務実施は今回で5回目。

外	交
---	---

コモロフスキ大統領が東方パートナーシップ5周年記念会合に出席【4月24日～25日】

24日～25日、コモロフスキ大統領はプラハで開催された東方パートナーシップ5周年記念会合に出席した。同会合において、コモロフスキ大統領は、ウクライナ情勢に関し、ポーランドはウクライナの親欧州路線を維持するために最大限の取り組みを行っていく、ウクライナ大統領選挙が自由で民主的な形で平和裏に実施されることが最も重要である旨述べた。

トゥスク首相がエネルギー同盟を巡る積極的な外交を展開【4月24日～5月5日】

4月24日～5月5日、トゥスク首相は、ポーランドが提唱するエネルギー同盟構想(欧州域内のエネルギー・インフラ構築、EUへのエネルギー供給の多様化、対外供給者に対するEU全体のバーゲニング・パワーの強化等)へのEU首脳の理解を得るために、ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長、オランド仏大統領、メルケル独首相、レンツィ伊首相、エッティン

ガー欧州委員(エネルギー担当)、オルバーン・ハンガリー首相等との会談を行った。トゥスク首相は、全ての会談において、会談相手から同構想に対する理解を得られたとの認識を示している。

ウクライナ情勢に関するポーランド政府の主な動き【4月24日～5月5日】

4月24日～5月5日、トゥスク首相は、ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長、オランド仏大統領、メルケル独首相、レンツィ伊首相、オルバーン・ハンガリー首相等を会談を行った際に、ウクライナ情勢につき意見交換した。

4月28日、コモロフスキ大統領はナポリターノ伊大統領と会談を行い、ウクライナ情勢を中心に意見交換した。同日、ウクライナ東部ドネツクにおいて、在ドネツク・ポーランド総領事館の開館式典が行われた。

4月28・29日、シコルスキ外相はブダペストで開催されたV4+東方パートナーシップ諸国非公式外相会合に参加し、ウクライナ情勢につき意見交換し

た。

4月29日、シコルスキ外相はブルカルテールOSCE議長(スイス大統領兼外相)と電話会談を行い、ウクライナのシロウヤンスクで親露分離主義者によって拉致されたOSCE軍事監視要員の解放に向けた取り組み及び現地状況につき意見交換した。

3日、ポーランド外務省及び国防省は拘束されて

いたOSCE軍事監視団要員が開放されたことに満足の意を表すると共に、政治目的の達成手段として行われる拉致行為を断固として非難する声明を发出した。

経 済

経済・財政政策

ベルカ総裁がユーロ導入を急ぐべきでないと発言【4月27日】

ポーランド中央銀行(NBP)のベルカ総裁は、ユーロ圏は非常に不透明であり、ユーロ導入は政治的決定となるが、エコノミストの観点からは急ぐべきではないと発言した。同総裁は、ポーランドは国際的に競争力があるものの、低費用・低賃金という労働市場の構造に基づくもので、これが改善されないままERM2メカニズムに入ることは非常に危険であると説明した。

経済省が経済予測を上方修正【4月30日】

経済省は、最新の経済予測を発表し、2014年の経済成長率を前回の予測値3.0%から3.3%に上方修正した。また、第1四半期の経済成長率を3.1%と予測し、寄与率は一般支出を2.2%、個人支出を2.6%、固定資産形成を3.9%とし、投資は前回の3.0%から4.1%に大きく上方修正している。他方、インフレ率は前回の2.0%から1.2%へと下方修正された。

イノベーションの推進に27億ユーロ支出予定【5月

5日】

経済省は2014年－2020年の中期予算枠組みにおける26.9億ユーロのイノベーション関連のEU基金の支出に係る方針をまとめた。銀行、ベンチャー・キャピタル等の支援で不足する分を政府が埋め合わせることで、革新的な新規企業の創出を推進する方針。現行プログラムの継続に加え、国家経済銀行(BGK)による保証基金や、ビジネス・エンジェル参加を加速化させる「Starter」プログラム、株式公開や債券発行を支援する「4Stock」プログラムなどの新規プログラムが予定されている。

OECDが経済予測を上方修正【5月6日】

OECDは最新の経済予測を発表し、2014年の経済成長率を3.0%、2015年を3.4%と、前回の2.7%及び3.3%からそれぞれ上方修正した。純輸出及び国内需要両方の増加が見込まれると説明しており、インフレ率は2014年が1.1%、2015年が1.9%と予測され、政策金利は2014年後半に上昇し、インフレ圧力が生じると予測している。

マクロ経済動向・統計

3月の失業率は13.5%【4月24日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の失業率は、2月の13.9%から13.5%へと改善され、同年前月の14.3%より遥かに低い数値となっている。3月末の登録失業者数は2,182,200人。新規求人は、前月より97,400人、前年同月より89,000人多い108,700人。また、270の組織が、近い将来、公共部門2,900人を含む28,600人を解雇予定と発表している。

新規受注は引き続き増加【4月24日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の新規受注は、前年同月比で2月の同12.5%増より増加の割合は減少したものの、5.9%増であった。前月比では、前月の同4.7%減から3.1%増へと増加した。輸出新規受注は、同年前月比で前月の同20.

1%増に対し、5.0%増、前月比では、前月の0.9%増に対し、1.9%減であった。

消費は増加傾向が続く【4月24日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の小売販売は、前年同月比で2月の同7.5%増より増加の割合は減少したものの、引き続き3.1%増となっている。実質データでは同3.3%増。前月比では、2月の同0.5%減から12.5%増へと大きく増加した。

海外のポーランド人は41億ユーロを本国に送金【4月30日】

海外で就労するポーランド人は、2013年に41億ユーロを本国に送金しており、過去数年で最も少ない額となっている。ポーランド政府にとっては、労働力流失の唯一の利点に影が見え始めたこと

になる。過去10年間で海外在住の210万人のポーランド系移民は2,100億ユーロを稼いでおり、平均賃金は6千ズロチ強と見られている。

74%のポーランド人はユーロ導入に反対【4月30日】

最新の調査によると、74%のポーランド人はユーロ導入に反対していることが判明した。賛成は22%、どちらとも言えないは4%であった。なお、この割合は前回調査より変化していない。

4月のPMIは52.0ポイント【5月2日】

4月の購買担当者景況指数(PMI)は、3月の54.0ポイントより減少した52.0ポイントとなっている。PMIが減少するのは2カ月連続で、4月は2013年7月以来最も低い数値となっている。新規受注と鉱工業生産の伸びが弱くなっていること、インフレ圧力が引き続き弱いことが要因として挙げられている。

4月の倒産は65件【5日】

4月の倒産件数は前年同月の88件より26.1%減少した65件となっている。年初からの4カ月間では、前年同期の328件より19.8%減少した263件となっている。2013年の倒産は926件で2012年の941件より減少しており、倒産件数の減少傾向が継続している。

輸出は増加が続く【6日】

3月の輸出は、前年同月比で9.7%増、前月比で9.8%増となる140億ユーロであった。ズロチ建では、それぞれ10.8%増及び10.3%増となる588億9千万ズロチとなっている。季節要因に基づく需要の増加及びイースター景気が主な要因として挙げられ、ウクライナ危機による本格的な影響は、事態が落ち着いてから出始めると見られている。

ポーランド産業動向

ソリス社がイタリア・ミラノ市にバスを供給予定【4月28日】

ソリス社(ポーランドのバス、トラム等製造会社)はATM Milan社へのバス供給に係る大型契約に署名した。先進的な電子装備及び情報システムを備えた85台の「Urbino 12」型バスを本年8月から12月にかけて2千2百万ユーロで供給する。ソリス社は2004年からイタリア向けに輸出を開始しており、ローマ、ジェノア等で採用されている。また、イタリア以外にも27か国に輸出している。

社製バスが新世界通りを走行する。同社製バスは、アムステルダム、ロンドン、ミラノ、テルアビブ、香港等でも採用されている。同入札に参加していたソリス社は、今回の決定に対し提訴することを検討している。

ワルシャワ市が中国BYD社製電気バスを導入予定【4月29日】

ワルシャワ市公共交通会社のMZA社は電気バスの公共調達入札において、中国のBYD社製バスを供給するAutomotive Europe Corporation(AEC)社の提案を採用した。本年秋から10台のBYD

白物家電の生産が第1四半期に前年同期比11%増【4月30日】

CECED(ポーランドの白物家電生産業界)によれば、本年第1四半期のポーランドにおける家庭用電化製品の生産台数は前年同期比11%増となる580万台だった。大型家電(冷蔵庫、オーブン、食器洗浄機等)が13%増、小型家電(アイロン、ミキサー等)が3%増だった。ポーランドは欧州最大の白物家電生産国で、2013年の生産高は34億ユーロだった。

エネルギー・環境

トウスク首相がエネルギー同盟を提唱、各国首脳と協議【4月24日～5月7日】

トウスク首相は、ウクライナ情勢に鑑みて欧州の対露エネルギー依存を低減すべく、欧州エネルギー同盟の形成を提唱しており、EU加盟各国首脳との協議を積極的に行っている。エネルギー同盟は、①域外からのエネルギー資源調達に係る共同交渉、②供給遮断に備えた域内供給網の接続強化、③エネルギー・インフラの開発に対するEU基金による支援(総コストの75%まで)、④域内で採掘可

能な化石エネルギー源(主に石炭、シェールガスを念頭)の最大限の利用、⑤ガス・石油の調達先多様化(特に米国)及び⑥EU周辺国のエネルギー安全保障の確保の6つの柱からなる。これまで、独、仏、伊、スペイン、ポルトガル、ハンガリー、ラトビアの首脳やファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長、エッティンガー欧州委員(エネルギー担当)と協議を行っており、多くの支持を得ている。

グリーンピースが原子カプログラム採択に関し

政府を提訴【4月25日】

環境保護団体のグリーンピースが原子力エネルギー・プログラムの却下を求めて首相府を提訴した。同団体は、原子力産業が自然環境に与える影響について同プログラムは考慮しておらず、公の協議プロセスの結果を反映する新たな環境影響評価が必要であると主張している。同団体はこれまで公の協議プロセスにおいて約6万のコメントを提出してきたが、多くの重要な質問が無視されてきたと主張している。

ポーランドと英国がシェールガス開発の影響に関する分析を共同で開始【4月28日】

グラボフスキ環境大臣は、ポーランドと英国は両国及びEUにおけるシェールガス開発の影響に関する分析を行うと述べた。年末までに報告書が完成する予定。シェールガスは経済安全保障、経済成長及びCO2排出削減を推進し得るが、シェールガスのポテンシャルに関する知見は普及していないことから今回分析を行うこととしたと大臣は述べている。

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の新CEOにタラス氏を指名【4月28日】

KW社(ポーランド国有炭鉱会社)の新CEOにタラス氏(Mirosław Taras)が指名された。KW社の監査役会は併せてCFOと4人の副CEOの選任・承認を行っている。同氏はLubelski Wegiel Bogdanka社のCEO職を2008年から2012年まで務め、同社炭鉱をポーランドで最も近代的且つ利益性の高い炭坑へと発展させた実績を持つ。KW社は5万5千人を雇用する欧州最大の炭鉱会社であるが、昨

年は10億ズロチの赤字を計上し資金難に喘いでいる。また、石炭需要の低迷により500万トンの在庫を抱えており、4月28日からの1週間15炭鉱中9炭鉱の操業を停止した。タラス新CEOにはKW社の経営改革を行うことが期待されており、1ヶ月以内に改革プログラム案が示される予定。タラスCEOは、少なくとも一つの炭鉱を閉鎖せざるを得ないであろうとの見通しを示しているが、大規模な雇用削減は回避する方針。

PKNオルレン社は2014年に3か所以上で天然ガス探査井を掘削予定【4月30日】

PKNオルレン社(国有石油精製等会社)は本年最低3か所で天然ガス探査井を掘削する方針。非在来型ガスについては、Nowy Steczyn(ポーランド南東部)で水平掘削を、Kisielsk(ポーランド東部)で水圧破碎を本年後半に行う。両権益では、これまでの探査活動において有望との結果が出ている。在来型ガスについてはMelgiew(ポーランド南東部)で現在掘削中である。

トウスク首相をはじめとするポーランド政府関係者は炭坑会社、関連労働組合等の代表者と会談した。会談後トウスク首相は、同首相は、現在国有電力会社により石炭火力発電所が建設されているのは、石炭の推進が単なるスローガンではなく事実であることの証左であると強調した。また、電力輸入の増加等に関する報告書や付加価値税の不正還付を含む石炭取引に係る不法行為に関する調査を1カ月以内に実施する他、公共調達や税負担等についても検証する方針を表明した。

大使館からのお知らせ

クラクフにおける領事出張サービスについて

大使館は、6月14日(土)10時から13時までの間、Qubus Hotel(Nadwisłanska 6, 30-527, Krakow)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/ryoujishuccho.krakow26.pdf>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来通り9時から17時までご利用いただけます。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00、Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp、住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

【訂正】

4月25日発行分に掲載しました「ポリシェフ社が天昇ポーランド社株式の取得に合意」の記事中、「三幸社」とありましたのは「三甲社」の誤りでした。訂正してお詫び致します。

文化行事・大使館関連行事

【開催中】ポーランド書道コンクール【5月1日(金)～22日(木)】

ワルシャワ日本語学校、ポーランド日本語教師会共催による『ポーランド書道コンクール』が開催されます。応募期間は5月20日までです。6月からは入賞作品の展示が予定されています。

詳細: www.wsjj.pl/jp

問合せ先: kontakt@wsjj.pl

【開催中】日本文化週間【5月8日(木)～15日(木)】

ビアウイストク市にて、ビアウイストク大学図書館主催による日本文化週間が開催されます。日本文化や日本社会などに関する講演会、折り紙のワークショップ等が予定されています。

開催場所: ビアウイウトク大学図書館、ul. Mari Skłodowskiej-Curie 14A, ビアウイストク市

問合せ先: bg@uwb.edu.pl, 85 745 76 87

【予定】第10回アクレオ駅伝大会【5月10日(土)～11日(日)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワマラソン基金主催による、駅伝大会が開催されます。大会の他、日本武道のデモンストレーション、日本のゲーム(将棋、けん玉等)体験コーナー、浴衣の着付けが予定されています。

開催場所: Kępa Potocka 公園 (ジヨリボジュ区)

詳細: <http://www.accreoekiden.pl/>

【予定】漫画の一日【5月15日(木)】

オルシテイン市にて、ヴァルミア・マズーリ大学図書館主催によるイベント『漫画の一日』が開催されます。漫画を紹介する講演会の他、ワークショップと映画上映会が予定されています。

開催場所: ワルミア・マジュリ大学図書館、ul. Oczapowskiego 12 B, オルシテイン

問合せ先: bib.uwm@uwm.edu.pl

【予定】European Cup Cadets 2014 ヨーロッパ柔道大会【5月17日(土)～18日(日)】

ビェルスコ・ビヤワ市にて、ポドベスキツキエ・スポーツ協会「ヤノシク」主催によるイベント『European Cup Cadets 2014 ヨーロッパ柔道大会』が開催されます。

開催場所: Hala Pod Debowcem、ビェルスコ・ビヤワ市 (www.bbosir.bielsko.pl)

詳細: www.judocup.pl

【予定】「第12回 日本語劇上演—アダム・ミツキエヴィチ大学日本学科2年生による—」上演【5月17日(土)】

時間: 16:30開演 (16:00開場)

開催場所: Dom Studencki "Hanka" の劇場

住所: al. Niepodległości 26, Poznań

演目: 「ヘンリーⅧ世」「かちかち山(人形劇)」

演技者: アダム・ミツキエヴィチ大学東洋研究所日本研究科2年生(昼・夜間コース)

後援: アダム・ミツキエヴィチ大学東洋研究所日本研究科

【予定】第5回シフィドニツァ市少年柔道選手権大会【5月18日(日)】

シフィドニツァ市にて、シフィドニツァ市柔道クラブ主催によるイベント『第5回シフィドニツァ市少年柔道選手権大会』が開催されます。

開催場所

詳細: www.judoswidnica.pl

【予定】第6回「サイレンズ・オブ・ザ・ボディ」国際マイムアートシアター講習&講演会【5月19日(月)~22日(木)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワのマゾヴィエツキエ文化芸術センター主催による『第6回「サイレンズ・オブ・ザ・ボディ」国際マイムアートシアター講習&講演会』が開催されます。

開催場所: マゾヴィエツキエ文化芸術センター

詳細: www.mimearttheatre.pl

待ち合わせ先: info@mimearttheatre.pl

【予定】日本文化デー【5月22日(木)】

ツェグウフ市にて、ツェグウフ市小・中学校主催によるイベント『日本文化デー』が開催されます。日本文化に関するさまざまなイベントおよびポーランド算盤コンクールが予定されています。

開催場所: ツェグウフ市小・中学校、ul. Poprzeczna 27, ツェグウフ市

詳細: www.ceglow.pl/aktualnosci/532-i-polskie-mistrzostwa-w-obliczeniach-na-sorobanie

【予定】MADE IN JAPAN 日本文化フェスティバル【5月22日(木)~25日(日)】

グダンスク市にて、グダンスク大学文化センター主催による、日本文化フェスティバルが開催されます。日本に関する講演会、日本の合唱団によるコンサート、よさこいの演舞、折り紙や武道、書道のワークショップが予定されています。

開催場所: グダンスク大学キャンパス

詳細: www.madeinazja.pl

問合せ先: bg@uwb.edu.pl, 85 745 76 87

【予定】第14回少年伝統空手選手権大会【5月31日(土)】

ワルシャワ市にて、ポーランド伝統空手協会主催による『第14回少年伝統空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: Arena Ursynow, ワルシャワ市

詳細: <http://www.warszawa.karate.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail.wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail.wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)